

プロポーズはこちらで♡

プロポーズにふさわしいロマンチックなスポットをNPO法人が認定する「恋人の聖地」プロジェクトで、恋人の聖地と連携して同プロジェクトを推進していく「恋人の聖地サテライト」に、県フラワーパーク（石岡市下青柳）が選定された。「恋人の聖地」には日本三名瀑の一つ、袋田の滝（大子町）が昨年選定されており、今月下旬にハートをモチーフにしたモニュメントが設置される。

■NPO法人審査

恋人の聖地は、少子化対策や地域の活性化を目的に、NPO法人「地域活性化支援センター」（静岡市）が平成18年から取り組んでいる。公共性のある観光施設や地域を、デザイナーの桂由美さんらでつくる委員会が審査し、選定する。「恋人の聖地サテライト」はこのプロジェクトに賛同する施設の中から選ばれる。

フラワーパークは昭和60年に開園し、800品種、3万株のバラをはじめ、ヤ

石岡のフラワーパーク「恋人の聖地」に



1月下旬から2月中旬までハートのイルミネーションも登場 ー石岡市下青柳（海老原由紀撮影）

マユリやダリアなど季節の花が楽しめる施設。その広さは約30畝を誇り、茨城を代表する花のテーマパークという点が評価された。過去には結婚式も行われた。昨年は開園30周年を記念し、5月に庭園風バラ園や通称「幸せの鐘」を新設したほか、12月からイルミネーションを初めて実施。1月下旬から2月中旬にか

けてハート形のイルミネーションも披露された。

■来園者増を期待

サテライトの認定を受け、同園の鈴木伊久男総務企画課長は「オリジナルグッズを増やし、関連イベントも開催していきたい」と話しており、若い来園者の増加につながることを期待している。

一方、袋田の滝が「恋人の聖地」に選定されたのは昨年10月。同町によると「即効性の恋愛効果が期待できるパワースポット」と雑誌で紹介されたこともあるという。水量によって滝の2段目中央のくぼみにハートが現れる。

同町では鍛金作家として活動している地域おこし協力隊にハートをモチーフにした銅製のモニュメントの作成を依頼した。滝が間近に見られる第1観瀑台に設置される。

このほか恋人の聖地には、平成22年に笠間市が「陶芸の里かさま」として認定を受けている。

（海老原由紀）



第1観瀑台から撮影した袋田の滝。中央付近にはハートの形が…（大子町提供）